



平成 19 年 10 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社 クリムゾン  
(JASDAQ・コード番号：2776)  
代表者名 代表取締役社長 児玉俊明  
問合せ先 取締役経営企画部長 古木智一  
電 話 03-3548-1515

## 「業績に影響を与える事象の発生について」の補足説明 及び経営改革委員会の基本方針決定に関するお知らせ

当社は、平成 19 年 10 月 2 日に「業績に影響を与える事象の発生について」の開示でお知らせしましたとおり、過年度に不適切な会計処理があることが判明いたしました。

このような不適切な会計処理が行われたことを真摯に反省し、再発防止に向けての改善措置を実施してまいりますので、下記の通りご報告いたします。

### 記

#### 1. 再発防止へ向けての改善措置

平成 19 年 10 月 5 日にリリースさせていただきました「経営改革委員会設置のお知らせ」の開示でご報告いたしました主な実施項目につき経営改革委員会で議論した結果、本日以下の方針を策定いたしましたので説明させていただきます。

##### (1) 不適切な会計処理の抜本的な再発防止策

社内監査体制を強化し、内部統制システムの再整備を進める。また、今回の不適切な会計処理の起因となったアウトレット店舗の在庫管理方法の変更をする。

##### (2) 在庫管理及び評価ルールの再整備

アウトレット店舗への POS レジ導入を早急に進め、直営店全店への POS レジによる在庫管理体制を構築し、不適切な処理の温床となりうる金額管理から数量管理への完全切り替えを行う。また、実地棚卸し原票の管理強化と記入ミス等の訂正時の承認ルールの強化、棚卸し調査結果の社内意思決定機関での審査承認を要することとする。季越商品の評価下げルールの見直しを行い評価額は社内意思決定機関で審査承認する。

(3) 公明正大な経営の実現を図るコーポレートガバナンス体制及び情報開示の強化

経営監督と経営執行機能の分離によるコーポレートガバナンスの強化を進め、更に、社外人材との協力体制の構築をすすめることで経営の監督機能を強化する。

また、IR 情報開示方針の策定によるステークホルダーの皆様への説明責任の強化を行う。

(4) コンプライアンス体制の強化と全社にわたる意識の徹底

コンプライアンスにかかる研修プログラムの計画実施およびコンプライアンス・マニュアルの作成と全社への浸透をはかる。また、コンプライアンス意識の人事評価制度への反映を徹底し、計画・実行・検証サイクルの導入による業務の体系化を行う。

2. 当社の損益に与える影響額（見込み）

平成19年10月2日にリリースさせていただきました「業績に影響を与える事象の発生について」の情報開示において誤りのあった在庫金額をお知らせいたしました。投資者の皆様方に、当社に与える影響額をより明確にご理解いただく為、以下の通り補足して説明させていただきます。

(単位：百万円)

	平成18年1月期中間			平成18年1月期末			平成19年1月期中間			平成19年1月期末		
	訂正前	訂正後	影響額	訂正前	訂正後	影響額	訂正前	訂正後	影響額	訂正前	訂正後	影響額
売上高	9,064	9,064	-	18,589	18,589	-	7,382	7,382	-	14,607	14,607	-
売上総利益	4,588	4,315	▲272	8,774	8,473	▲300	3,443	3,055	▲387	6,739	6,132	▲607
営業利益	506	234	▲271	1,049	750	▲299	▲436	▲822	▲385	▲436	▲1,041	▲604
経常利益	507	236	▲271	1,076	777	▲299	▲423	▲809	▲385	▲421	▲1,026	▲604
当期純利益	199	38	▲161	467	289	▲177	▲280	▲510	▲229	▲341	▲701	▲359

※ 上記数値は特別調査委員会の調査結果を受けた監査前の訂正值（見込み）であり、今後の再集計により変更になる場合がございます。

3. 当社の純資産に与える影響額（見込み）

各事業年度の純資産に与える影響額（見込み）は以下の通りであります。

(単位：百万円)

	平成18年1月期中間			平成18年1月期末			平成19年1月期中間			平成19年1月期末		
	訂正前	訂正後	影響額	訂正前	訂正後	影響額	訂正前	訂正後	影響額	訂正前	訂正後	影響額
流動資産	10,092	9,810	▲281	9,058	8,871	▲187	7,835	7,425	▲409	7,494	6,955	▲538
固定資産	2,335	2,335	-	2,268	2,268	-	2,310	2,130	-	3,186	3,186	-
繰延資産	70	70	-	46	46	-	23	23	-	-	-	-
資産合計	12,498	12,216	▲281	11,373	11,186	▲187	10,168	9,759	▲409	10,681	10,142	▲538
流動負債	6,461	6,341	▲120	5,581	5,572	▲9	5,002	5,000	▲1	4,174	4,173	0
固定負債	1,018	1,018	-	491	491	-	300	300	-	1,734	1,734	-
負債合計	7,480	7,359	▲120	6,072	6,063	▲9	5,302	5,300	▲1	5,908	5,907	0
純資産	5,018	4,856	▲161	5,300	5,122	▲177	4,866	4,458	▲407	4,772	4,234	▲537
負債及び純資産合計	12,498	12,216	▲281	11,373	11,186	▲187	10,168	9,759	▲409	10,681	10,142	▲538
商 品	1,357	1,084	▲272	1,016	715	▲300	1,363	675	▲687	1,501	594	▲907

※ 上記数値は特別調査委員会の調査結果を受けた監査前の訂正值（見込み）であり、今後の再集計により変更になる場合がございます。

#### 4. 今後の予定

本日、当社の一時的会計監査人として選任された、金丸氏、大塚氏の監査を受けた後、不適切な会計処理が判明した過年度の有価証券報告書等の訂正及び決算短信等の訂正を速やかに行います。

今後、適正な会計処理及び適切な適時開示が行えるよう体制を整え、株主及び投資家の皆様並びに一般消費者の皆様、各取引先様等への信頼の回復をするべく、全社総力を挙げて一丸となった経営努力を推し進め、企業価値の向上に努めてまいります。

以 上